

平和集会に参加して

初めてこの集会に参加した。「平和」という言葉から思いつくことは戦争がない世界、誰とでも笑顔で日常を交わす穏やかな暮らし、くらいしか私には想像ができない。しかし聞けば聞くほど平和とは難しい。日本の歴史だけでも、戦争、原爆、人種差別、性差別など多くの悲しい歴史があった。今を、そして未来を生きる私たちがやるべきことは何だろう。

一人一人が正しい認識を持ち、二度と同じ過ちを起こさないこと。わかってはいてもそう簡単に解決できることではない。原爆が投下された長崎の街が埋め立てられ、今もそのまま眠っているように、姿が見えないだけで、時代は過ぎ去っても一つ一つの争いが本当の意味で解決せず置き去りにされてきた問題が沢山あるからではないだろうか。しかし戦争のない時代に生まれた私たちはどれだけ時代をさかのぼり、歴史に決着をつけなければいけないのだろう。その責任をどこまで果たせば良いのだろう。

本当の平和って何だろう。平和を掲げながら誰かと争ったり、勝敗や善悪を付けたがるのはなんだろう。全ての人が願う平和への通過点にこれ以上争いがない事を願うばかりである。

盛岡聴覚支援分会 武田 絵理香

「9・22 さようなら原発 さようなら戦争大集会」

9月22日(木)、代々木公園(東京都)で「9・22 さようなら原発 さようなら戦争大集会」(主催「さようなら原発」一千万人署名 市民の会)が行われ、高教組から7人が参加しました。作家の澤地久枝さんのあいさつ、原発事故のあった福島県から郡山市議会議員、また、高校生1万人署名運動にとりくむ高校生平和大使などの発言があり、様々な見地から脱原発、反戦争への思いが話されました。

あいにくの激しい雨の中での集会で、予定されていたデモ行進は中止となりましたが、約7千人が参加し、原発再稼働や戦争法成立という社会情勢への危機感を共有しました。

